

子曰く、賢を見ては齊しからんことを思い、不賢を見ては内に  
みずか かえりみ

自ら省るなり。

君子は言に訥にして、行に敏ならんことを欲す。

【大体の意味内容】先生はおっしゃった。「才能や仁徳に優れた人を見ると、自分もあのとおり  
になりたいと思ひ、くだらない人を見ると、自分もああなのではないかと反省すべきである。  
立派なリーダーは、話をするのはうまくなくても、行動は俊敏でありたいと願うものだ。他人  
に仕事を押し付ける前に、自分が率先して面倒なことに取り組む人である。」

やたらと他人を「バカ」呼ばわりするのはやめましょう。どうしても気になってきますし、ものすごい  
違和感を覚えます。一体、自分を何様だと思っているのでしょうか。だれにでも長所があり、短所もあり  
ます。よいところ・素晴らしいところを見つけて、それに倣いましょう。よくないところ・残念なところ  
が目についたら、実は同じ欠点を自分も持っているから、それに気づいたのかもしれない、「あの人の  
いやなところは、自分のいやなところなのかもしれない」と反省しましょう。  
テストの成績がよい人が、人格的にも素晴らしい人だとは限りません。

成績の低い人が、くだらない人間だというわけでもありません。テストで良い成績を取る才能とは違っ  
た種類の才能を持ってしまっているから、学校の成績がよくないだけかもしれないのです。  
人の能力はいろんな面で発揮されます。テストで得点できる力、だけで人を見るのは、あまりにも狭い  
考え方です。

すぐに結果を出せる人もいれば、ゆっくり時間をかけて才能を発揮する人もいます。みなそれぞれです  
が、だれもが共通してなれる「天才」があります。それは、  
「努力の天才」になることです。

だれだってなることはできるのですが、一番難しい才能です。イチローも大谷翔平も本田圭佑も、「努  
力の天才」です。

努力の天才は最高の天才ですし、美しいし、素晴らしいのです。